

平成23年度

熊本県支部総会

[日時] 2011年2月5日(土) 12時30分～

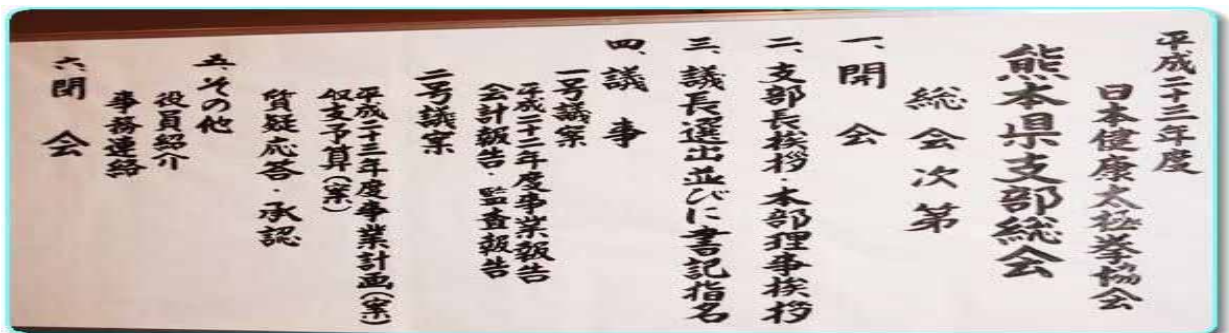
[場所] 熊本公徳会武道場<びぶれす熊日会館7F>

支部会員数 365名

出席者 83名 委任状171名

「質問もだされ、活発な議事進行で議案は承認された。」

[総会次第]



[司会]:(副支部長)牟田敏子

[開会挨拶]:(副支部長)丸山民代



[荒木ひとみ支部長挨拶]



「22年度は楊進先生始め多くの来賓をお招きし、1200人参加の中で、大事業「楊名時太極拳50年記念九州ブロック大会熊本県支部25周年記念大会」を立派に執り行う事が出来ました。熊本県支部の結束力と特にスタッフの働きに県外からのお客様より沢山のおほめの言葉をいただきました。皆様の協力の賜物です、ここに厚くお礼申し上げます。」

さて、とても寒い年末年始でしたね

「太極拳をしていなければ家にいて外に出ないかもしれない、

教室があると寒くても出かけて行ってお互いに元気を貰いあうことができる、

太極拳のお陰です」と、何人もの会員さんからの声でした、

これが大事だと思いました、今年度も健康のために集う皆さんの輪を大切にしながら進めて参りたい、頑張りましょう、

[牟田光一郎本部理事挨拶]

昨年の大会は、大成功でした、九州では、宮崎県

と、佐賀県に支部を造りたい、



議長に「福嶋巧氏」選出

[東豊子事務局長より事業報告]

1号議案 平成22年度事業報告 会計報告 監査報告

2号議案 平成23年度事業計画案 収支予算案

[上村敏江会計理事より収支決算報告]

[監査報告 田中曠海監事 松本ふみ監事]

質 疑

◇ 大会決算額が予算額を上回った事について、

「これは、参加者が増えたことと事業内容を充実させたことによるもの、

県内外の会員・参加者の協力で収支が整う見込みもあり、実現できた。」

◇ 楊名時八段錦太極拳を深く勉強したいなど多くの意見も出た、

[役員改選]

退任(理事) 下田富美子さん

「支部設立当初からの理事です,交代できて肩の荷が軽くなりました,
その分元気になったようにも思います,教室のいくつかはお弟子さんに譲り,広げています,これ
からも協力しますよ,」



新任(理事) 上田耕三さん

「頑張ります,よろしくお願いたします,」

[議長解任]

[閉会の辞] 松永正成理事

九州新幹線 全線開業まで 35日

総会の間、熊本県支部ホームページの内容が

スクリーンで写されておりました,

「トピックス」の“見て見て!私の街の太極拳”“

人気でした,



引き続き講演会(次ページ)が開催された,

講演会



演題「命をおくるもらうことの意味を考えよう」

講師 西村真理子先生

熊本日赤病院 社会課長 熊本県臓器移植コーディネーター 薬剤師

総会後の講演会は重いテーマでしたが、先生のお話は、ユーモアがあり、笑いがあり、感動があり、ポイントを突いた記憶に残るものでした。

「臓器移植で日本は先進各国に 30 年遅れている、昨年臓器移植法が改正された、これまでの海外に依存せざるを得ないなどの問題を少しでも解決し、国内で移植の道を広げるため、24 時間体制で仕事している、

多くの人にこうして話をするのも大事な仕事の一つ、自分の体は、臓器は、最後まで使いたおすことが基本

生活習慣病にならないような健康管理が大事、それによって医療費削減にも役立つ、そのことは誰でもが受けられる医療保険維持にもつながる、

熊本県は人工透析患者が全国 1 多い、人工透析費用は年間 1 人当たり 500 ~ 600 万円かかる、臓器移植によって患者さんの身体機能も高まるほかに医療費を減らすことも出来る、臓器移植について理解を深め、話題にして下さい、

臓器提供意思表示カードが資料として配布されたが、早速帰宅後記入した理事もいた、話を聞いた人は教室でも話題にしてみよう、